

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画等に基づく事業) (案)

令和 年 月 日

協議会名: 周南市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

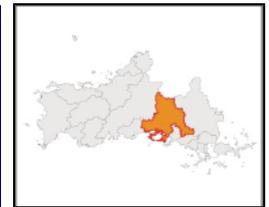
①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
周南市	大道理・須々万線 (大道理地区内～須々万地区内)	<ul style="list-style-type: none"> 「目標が達成できなかった取組について、要因を分析し、引き続き関係者と連携協働を図り、より利便性の高い交通サービスが提供されることを期待します。」については、頻繁に利用されていた方が転居されたことが要因の一つと分析している。 「病院や商業施設など連携し、より一層の利用者獲得に向けた取組を期待します。」については、大道理・須々万線にて商業施設に新たな停留所を増設した。 ⇒引き続き、運行受託事業者(地元協議会)を通じて、地域のニーズの把握に努める。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B ▶目標達成状況 ・利用者数:1,177人(目標1,350人以上) ・収入:194,000円(目標202,000円以上)、国からの支出:383,000円(目標1,220,000円以内)、周南市からの支出:1,100,000円(目標1,221,000円以内) ・収支率:13.0%(目標8.2%以上) ▶効果達成状況 ・各地区の路線の維持に努め、高齢者等の日常生活に必要な不可欠な移動手段を確保することができた。	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き関係者と連携して地域のニーズ等の把握に努め、運行ダイヤや乗降場所など住民が利用しやすい運行内容となるよう実施する。 新規利用者の獲得に向け、利用案内の配布等により周知を行う。
周南市	八代・高水線 (鶴いこいの里～ゆめプラザ熊毛)	※昨年度は補助要件を満たせず対象外	A 計画通り事業は適切に実施された。	B ▶目標達成状況 ・利用者数:1,806人(目標1,707人以上) ・収入:412,000円(目標224,000円以上)、国からの支出:2,435,000円(目標2,192,000円以内)、周南市からの支出:3,815,000円(目標2,193,000円以内) ・収支率:6.6%(目標5.1%以上) ▶効果達成状況 ・各地区の路線の維持に努め、高齢者等の日常生活に必要な不可欠な移動手段を確保することができた。	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き関係者と連携して地域のニーズ等の把握に努め、運行ダイヤや乗降場所など住民が利用しやすい運行内容となるよう実施する。 新規利用者の獲得に向け、利用案内の配布等により周知を行う。
周南市	菊川・富田線 (菊川地区内～新南陽市民病院、新南陽駅前)	※新規	A 計画通り事業は適切に実施された。	A ▶目標達成状況 ・利用者数:1,307人(目標1,225人以上) ・収入:388,000円(目標122,500円以上)、国からの支出:2,267,000円(目標2,387,500円以内)、周南市からの支出:2,268,000円(目標6,838,000円以内) ・収支率:8.6%(目標1.3%以上) ▶効果達成状況 ・各地区の路線の維持に努め、高齢者等の日常生活に必要な不可欠な移動手段を確保することができた。	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き関係者と連携して地域のニーズ等の把握に努め、運行ダイヤや乗降場所など住民が利用しやすい運行内容となるよう実施する。 新規利用者の獲得に向け、利用案内の配布等により周知を行う。

事業実施と地域公共交通計画等との関連について

令和 年 月 日

協議会名:	周南市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>(1)市域全体の概況 本市は山口県の東南部に位置し、北に中国山地を背に、南に瀬戸内海を望む面積656.29km²の広大な市域を有する、人口約13万7千人の都市である。JR徳山駅を中心に市街地が広がっており、鉄道・路線バス・航路・コミュニティ交通によって、市街地とその周辺部、中山間部、島しょ部を結ぶ公共交通網が形成されている。 鉄道については、JR山陽新幹線をはじめ、JR山陽本線、JR岩徳線が東西に走っており、防長交通株式会社が運行する市内の路線バスは、南部では網目状に、中山間部では主に国道や県道を運行し、市全域をほぼ網羅している。 また、離島航路として徳山～大津島航路が本市の第三セクターである大津島巡航株式会社によって運航されている。</p> <p>(2)地域公共交通の課題・必要性等 本市の中山間部においては、鉄道がなく、自家用車を所有していない市民にとっては、バスが買い物や通院など日常生活になくてはならない交通手段である。 しかしながら、バス事業については、近年の人口減少・少子高齢化の進展に伴う生産年齢人口の減少を背景に構造的な運転士不足が深刻化しており、路線バスの減便や路線廃止といった影響として現れている。 こうした状況にあっても、さらに過疎化・高齢化が進行する中山間部において、スーパーや病院などの生活利便施設が多く立地している地域への移動手段を確保することは、地域の活力を維持していくために必要不可欠であり、既存バス路線の見直しと合わせた効率的で利便性の高い持続可能な地域公共交通ネットワークの構築に向け、地域公共交通確保維持事業に取り組む必要がある。 また、フィーダー系統と地域間幹線系統の接続によって、中山間部の市民も容易に中心市街地等へ移動することが可能となり、生活の質の向上や外出機会の創出に大きく寄与するものと考えられる。</p> <p>(3)補助フィーダー系統対象地域について 【大道理地区】(平成27年10月 運行開始、令和2年10月区域運行に変更) 大道理地区においては、スーパーや病院などが立地する須々万地区へのバス路線がなく長年課題となっていた。 こうしたニーズに対応するため、市と地域が協働し、本系統の運行を実施するものである。 また、地区内移動について、ドアツードアでの送迎実施の声が多く、これに応えるべく、令和2年10月より区域運行に変更した。</p> <p>【八代地区】(平成29年10月 運行開始) 従来、八代地区と高水駅、光市、下松市をつなぐ路線バスが運行していたが、便数が少なく、朝夕に偏った運行ダイヤのため、通院等で利用する際に、昼頃、八代地区へ帰る便がなかった。 また地区内には、バス停から離れた集落が点在し、交通不便地域も多く見られた。こうした課題を解消するため、既存の路線バスに代わり、交通結節点や地域拠点までの運行を実施するものである。</p> <p>【菊川地区】(令和7年4月 運行開始)※令和6年4月1日～令和7年3月31日実証運行 菊川地区(中野方面)のバス路線が令和5年3月に、また同地区(奥四熊、川曲方面)のバス路線が令和6年3月末をもって廃止され、廃止後の住民の代替移動手段を確保するため交通結節点までの運行を実施するものである。</p>

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 周南市地域公共交通会議 生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統)の概要



周南市の概要

- ・平成15年4月に2市2町が合併
- ・人口 137,540人(令和2年度国勢調査)
- ・面積 656.29km²

周南市地域公共交通会議の構成員

周南市、山口運輸支局、防長交通(株)、西日本旅客鉄道(株)、大津島巡航(株)、徳山地区タクシー協会、市民・利用者代表、私鉄中国地方労働組合防長交通支部、周南警察署、光警察署、中国地方整備局、山口県、福祉関係事業者、学識経験者

概要

本市は山口県の東南部に市街地位置し、北の中国山地を背に、南に瀬戸内海を望む面積656.29km²の広大な市域を有する、人口約13万7千人の都市である。JR徳山駅を中心に広がっており、鉄道・路線バス・航路・コミュニティ交通によって、市街地とその周辺部、中山間部、島しょ部を結ぶ公共交通網が形成されている。

特に、本市の中山間部においては、鉄道がなく、自家用車を所有していない市民にとっては、バスが買い物や通院など日常生活になくてはならない交通手段である。

しかしながら、バス事業については、近年の人口減少・少子高齢化の進展に伴う生産年齢人口の減少を背景に構造的な運転士不足が深刻化しており、路線バスの減便や路線廃止といった影響として現れている。

こうした状況にあっても、さらに過疎化・高齢化が進行する中山間部において、スーパーや病院などの生活利便施設が多く立地している地域への移動手段を確保することは、地域の活力を維持していくために必要不可欠であり、既存バス路線の見直しと合わせた効率的で利便性の高い持続可能な地域公共交通ネットワークの構築に向け、地域公共交通確保維持事業に取り組んでいる。

協議会の主な取り組み

- ・周南市地域公共交通会議の実施(5回開催)
- ・周南市地域公共交通計画に係る事業の実施(公共交通の利用促進に資する情報誌「notta!」発行事業、公共交通マップの更新作成)
- ・利用者のニーズに合わせた停留所の増設や時刻表の改正
- ・交通不便地区におけるコミュニティ交通の導入検討
- ・公共交通時刻表の見直しによる市民への周知等

協議会における検討 <地域公共交通会議の開催状況:5回開催>

- ・令和6年12月25日【文書協議】
令和6年度地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)に係る事業評価(案)について
- ・令和7年2月17日
自家用有償旅客運送の変更登録申請について 等
- ・令和7年4月21日【文書協議】
令和7年度周南市地域公共交通会議における事業計画(案)及び当初予算(案)のうち、「周南市地域公共交通計画策定事業」に係る文書協議について
- ・令和7年5月20日
令和8年度地域内フィーダー系統確保維持事業に係る地域公共交通計画認定申請(案)について 等
- ・令和7年6月26日
令和8年度地域公共交通確保維持事業(地域間幹線系統確保維持費国庫補助金)の認定申請(案)について

周南市地域公共交通会議 事業評価

定量的な目標・効果

(事業の目標) 大道理・須々万線

- ・利用者数を1,350人以上とする。
- ・収入を202,000円以上、国からの支出を1,220,000円以内、周南市からの支出を1,221,000円以内とする。
- ・収支率を8.2%以上とする。

八代・須々万線

- ・利用者数を1,707人以上とする。
- ・収入を224,000円以上、国からの支出を2,192,000円以内、周南市からの支出を2,193,000円以内とする。
- ・収支率を5.1%以上とする。

菊川・富田線

- ・利用者数を1,225人以上とする。
- ・収入を122,500円以上、国からの支出を2,387,500円以内、周南市からの支出を6,838,000円以内とする。
- ・収支率を1.3%以上とする。

(事業の効果) 各地区の路線を維持することにより、高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。
また、幹線・支線のネットワークが連携することで、効率的な運行体系が実現でき、さらには、外出促進・地域活性化にもつながる。

昨年度の自己評価に対するフォローアップ

- ・利用者数を増やすため、運行受託事業者(地元協議会)と意見交換を行い、利用者や運転士の意見を収集し、地域のニーズ等の把握に努めた。
- ・地域からの要望を受け、商業施設に新たな停留所を増設。

実施した利用促進策

- ・利用促進や利便性向上を図るため情報誌を作成し、市の施設等で配布した。
- ・市のホームページを活用し、周知を図った。
- ・必要に応じ、運行受託事業者(地元協議会)と意見交換を行った。
- ・ダイヤ改正に合わせ、地域に利用案内を配布し、新規利用者の獲得に努めた。

昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

- ・「目標が達成できなかった取組について、要因を分析し、引き続き関係者と連携協働を図り、より利便性の高い交通サービスが提供されることを期待します。」については、頻繁に利用されていた方が転居されたことが要因の一つと分析している。
 - ・「病院や商業施設など連携し、より一層の利用者獲得に向けた取組を期待します。」については、大道理・須々万線にて達成した。
- ⇒引き続き、運行受託事業者(地元協議会)を通じて、地域のニーズの把握に努める。

地域住民の意見の反映

- (大道理・須々万線)
 - ・商業施設に新たな停留所増設の要望を受け、関係者と調整し停留所を増設。
- (八代・高水線)
 - ・JRとの乗り継ぎができるようダイヤを一部改正。
 - ・車両がリース満了となるにあたり、地域の希望かつ安全に運行ができる車両を導入。
- (菊川・富田線)
 - ・車両がレンタル期間満了となるにあたり、地域の希望かつ安全に運行ができる車両をリース車両として導入。

事業実施の適切性

大道理・須々万線、八代・高水線、菊川・富田線
・計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。

目標・効果達成状況

(目標達成状況)

大道理・須々万線

・利用者数:1,177人 ・収入:194,000円、国からの支出:383,000円、周南市からの支出:1,100,000円 ・収支率:13.0%
⇒目標のうち、国からの支出、周南市からの支出、収支率は目標達成できたが、利用者数、収入は達成できなかった。

八代・高水線

・利用者数:1,806人 ・収入:412,000円、国からの支出:2,435,000円、周南市からの支出:3,815,000円 ・収支率:6.6%
⇒目標のうち、利用者数、収入、収支率は達成できたが、国からの支出、周南市からの支出は目標達成できなかった。

菊川・富田線

・利用者数:1,307人 ・収入:388,000円、国からの支出:2,267,000円、周南市からの支出:2,268,000円 ・収支率:8.6%
⇒すべての目標を達成できた。

(効果達成状況)

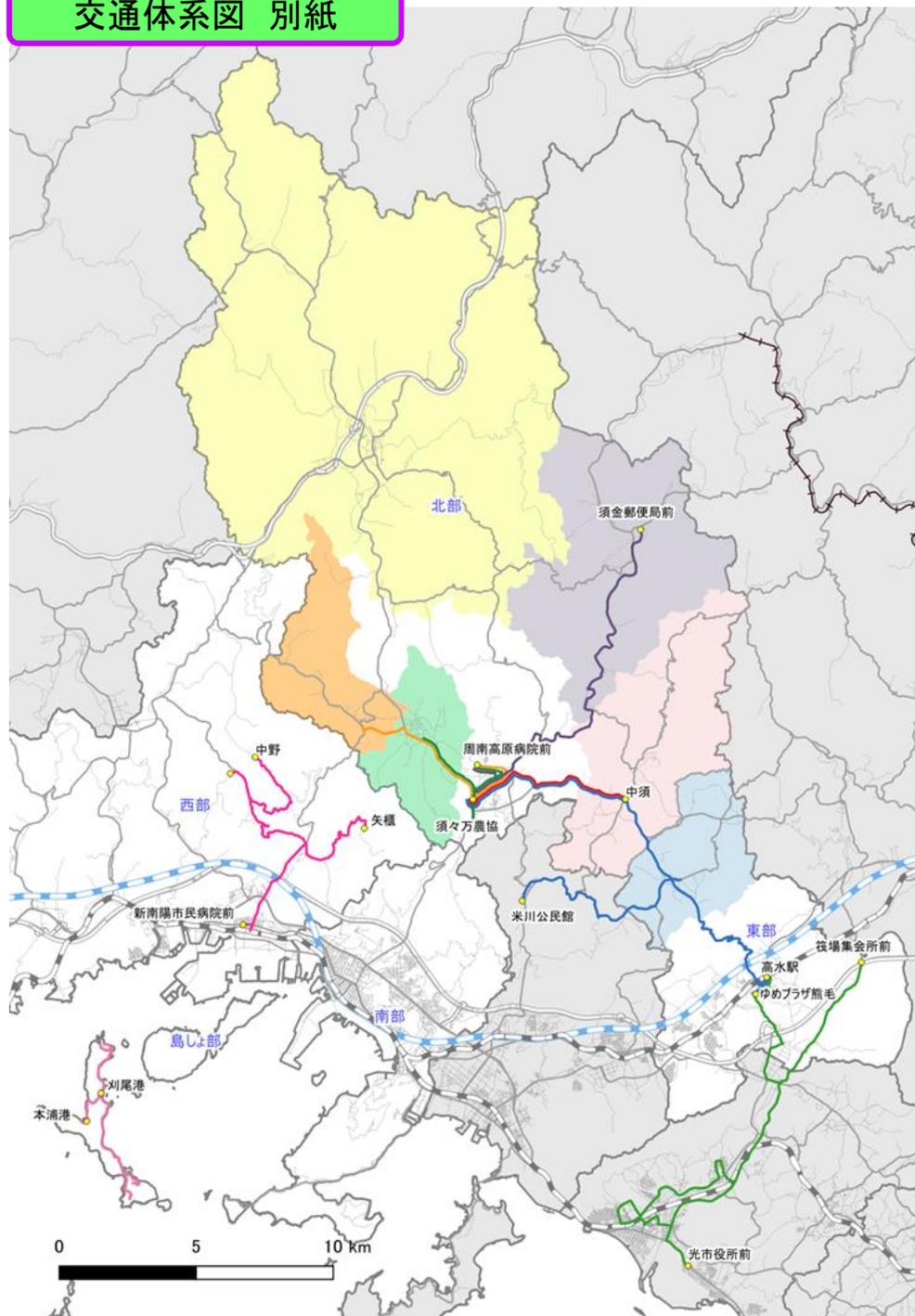
- ・各地区の路線の維持に努め、高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段を確保することができた。
- ・幹線バスに接続することで、効率的な運行体系の実現と広域的な外出が可能となっている。

事業の今後の改善点

大道理・須々万線、八代・高水線、菊川・富田線

- ・引き続き関係者と連携して地域のニーズ等の把握に努め、運行ダイヤや乗降場所など住民が利用しやすい運行内容となるよう検討、実施する。
- ・新規利用者の獲得に向け、利用案内の配布等により周知を行う。

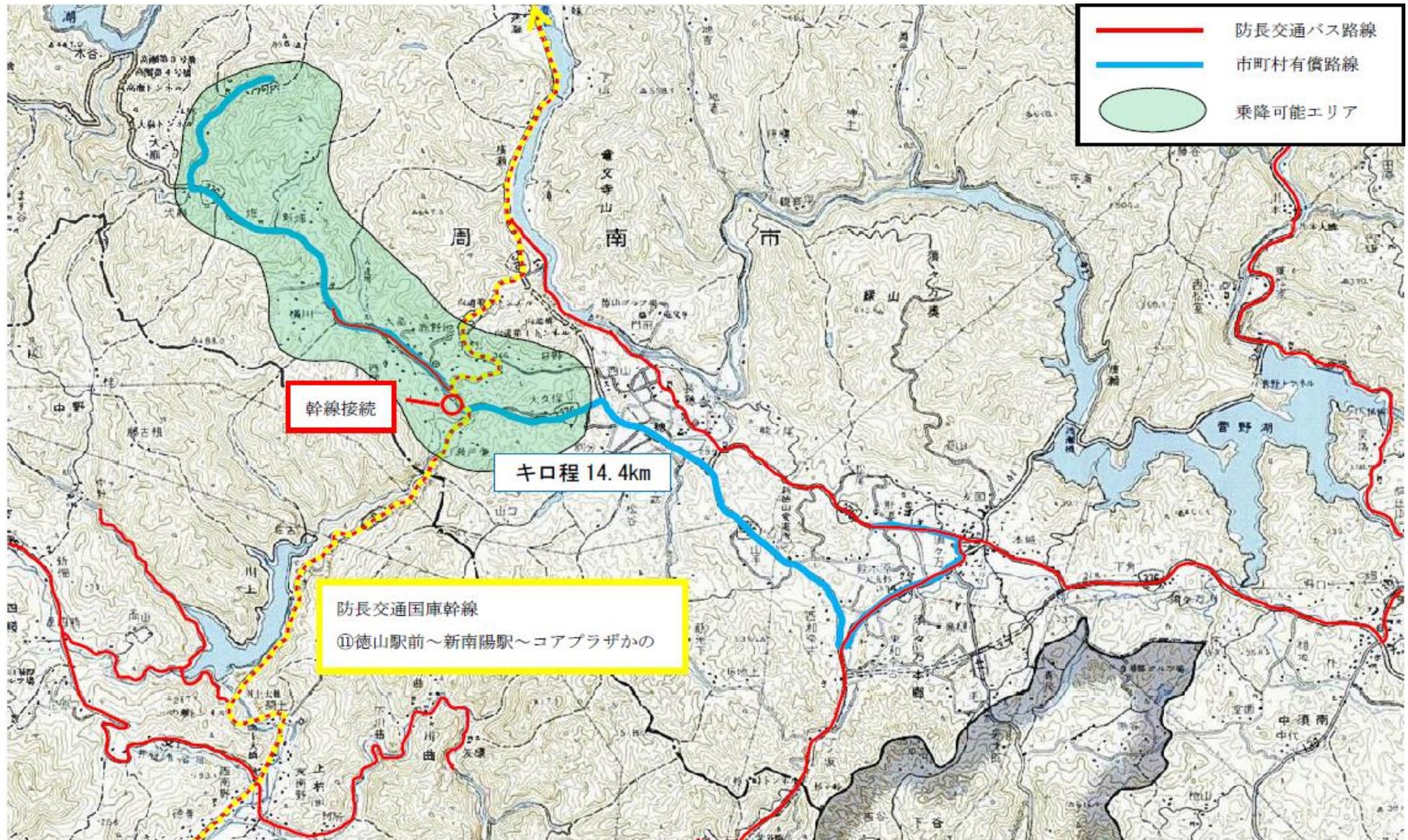
交通体系図 別紙



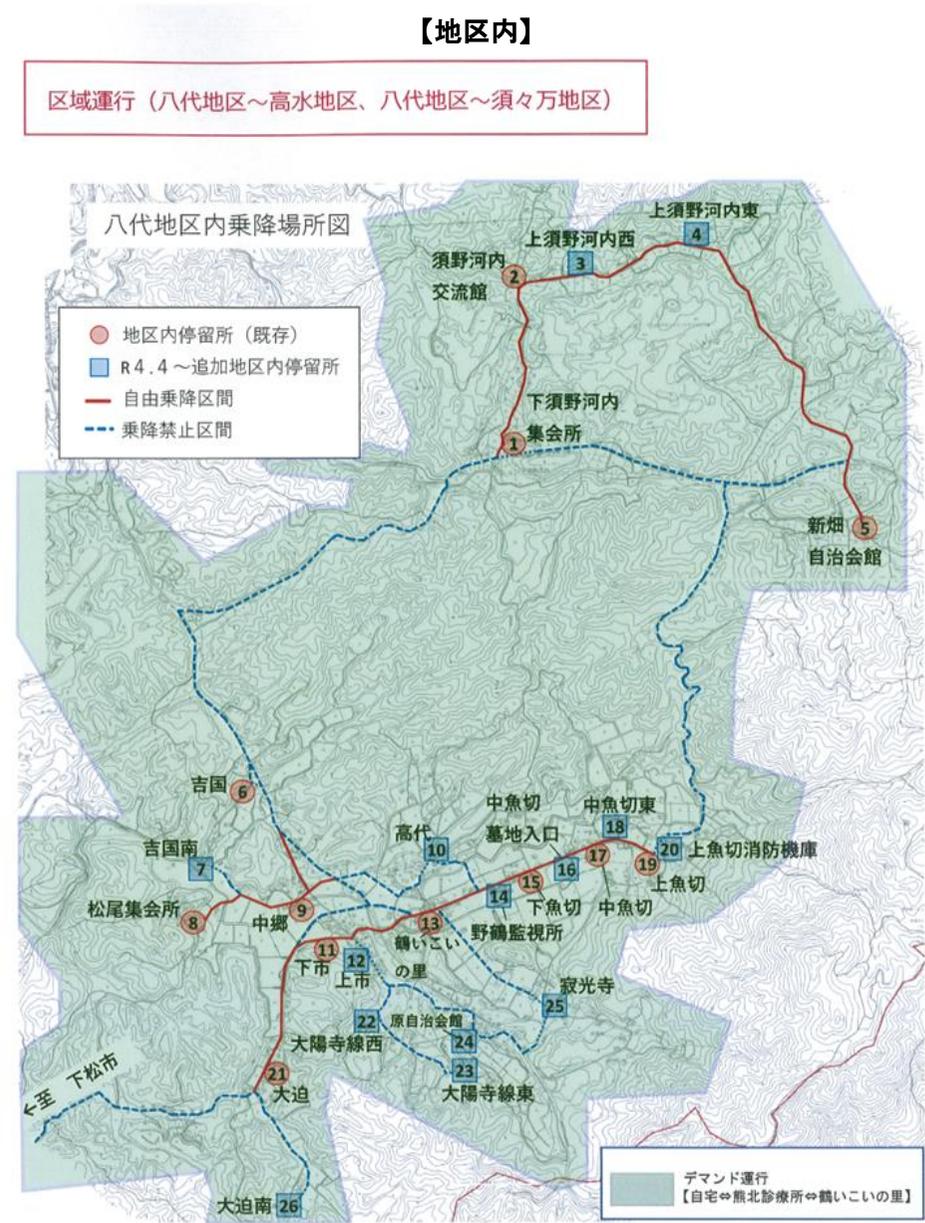
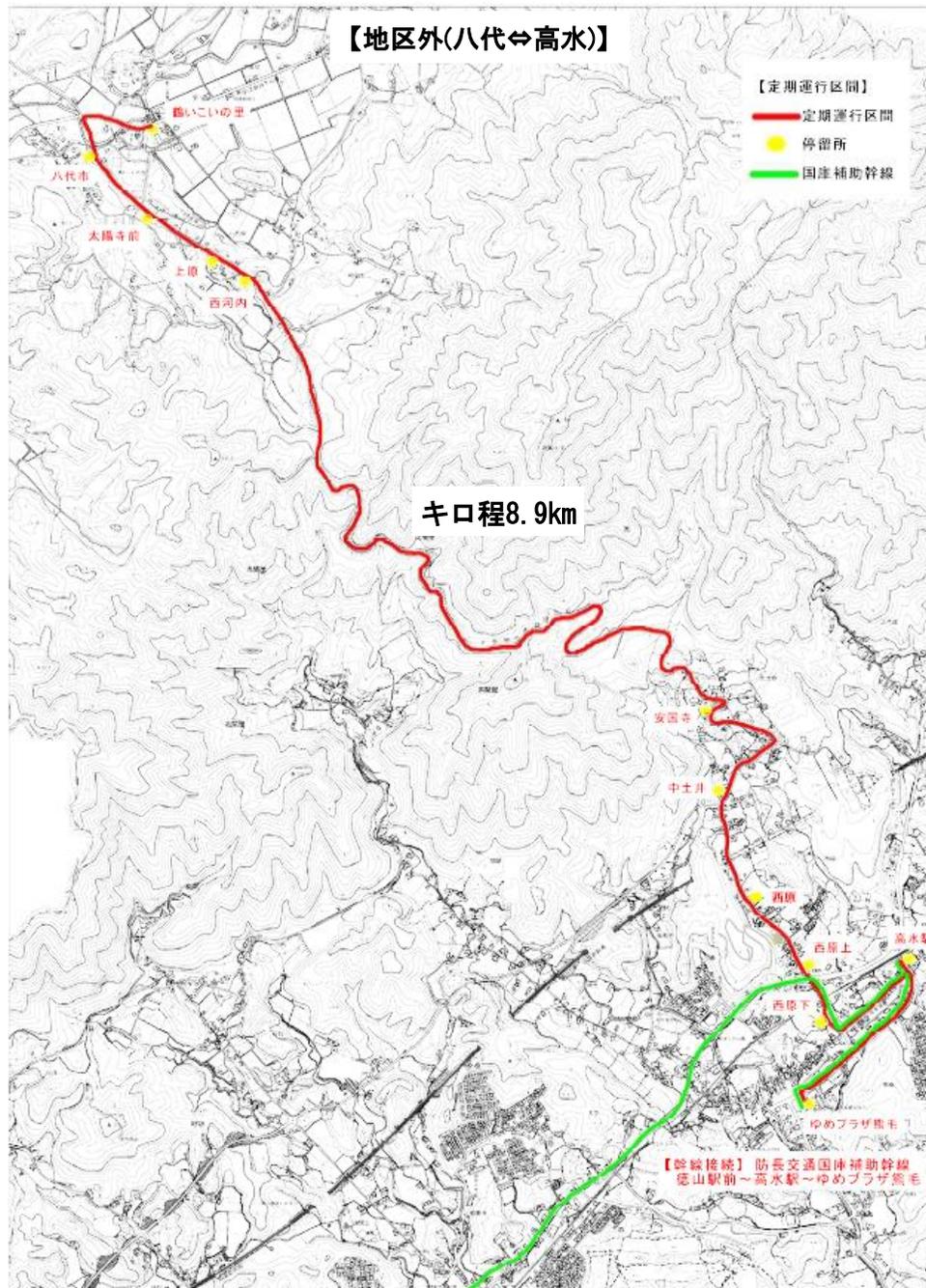
- 大道理地区コミュニティバス「もやい便」
 - 八代地区コミュニティバス「友愛号」
 - 須金地区コミュニティバス「すがねスマイル号」
 - 中須地区コミュニティバス「ふれあい中須号」
 - 長穂地区コミュニティバス「長穂ほたる号」
 - 大津島コミュニティバス「きずな号」「そよかぜ号」
 - 菊川地区(菊川-富田線)コミュニティバス
 - 広域生活交通(光市役所前~周南市熊毛地域方面)
 - 防長バス路線
- コミュニティ交通 起点・終点
 - 防長バス起点・終点・主な経由地
- もやい便
 - 友愛号
 - ミスがねスマイル号
 - ふれあい中須号
 - 長穂ほたる号
 - ふれあい号

運行系統図 別紙

系統名	大道理・須々万線「もやい便」
運行形態	交通空白有償運送(地区内:区域デマンド型、地区外:路線不定期)
運行日・便数	月・水・金曜日:1日5便、火曜日:1日2便【祝日、8/13~8/16、12/30~1/5は運休】
運賃	①地区内:片道100円、②地区外(大道理⇄須々万):片道200円

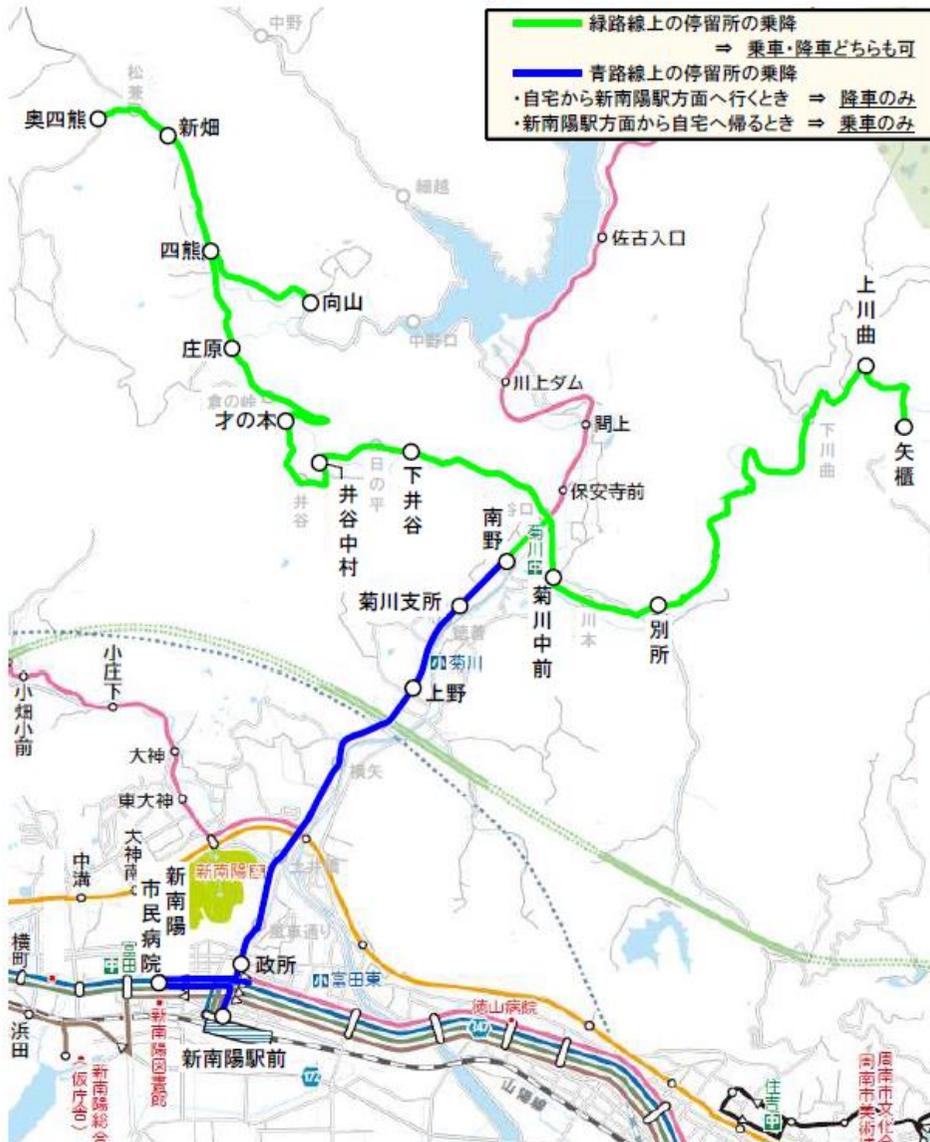


系統名 八代・高水線「友愛号」
運行形態 交通空白有償運送(地区内:区域デマンド型、地区外:路線定期)
運行日・便数 月～土曜日:1日6便(往路3便、復路3便)【祝日、12/29～1/3は運休】
運賃 ①地区内:片道100円、②地区外(八代⇄高水):片道300円



系統名 菊川・富田線
運行形態 交通空白有償運送(路線定期)
運行日・便数 月～金曜日:1日6便(往路3便、復路3便)、土曜日:1日4便(往路2便、復路2便)【祝日、12/29～1/3は運休】
運賃 ①四熊・川曲等から南野まで:100円、② ①を越える区間:300円

菊川地区(四熊・川曲等)コミュニティバス 路線図



菊川地区(四熊・川曲等)コミュニティバス運行経路図

